

特別企画

★安定的な財源の確保に取り組むクラブ★

NPO法人萩原スポーツクラブ 岐阜県下呂市

日本スポーツ協会が「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2023-2027」で掲げる総合型クラブ育成の基本理念である「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、クラブの活動が地域に根差し、クラブが安定的に運営されることが必要です。

そこで今回は、地元の行政や企業、団体等と連携し、安定的な財源の確保に向けた取り組みを行っているクラブを紹介します。

1

クラブ概要

会員対象事業+公益事業を請け負ってクラブとして発展

平成15年5月に設立し、事業を開始した萩原スポーツクラブ(以下、「萩原SC」)は、合併前の萩原町(人口11,000名)を主要な対象地域とし、教育委員会・体育指導員が先導して設立を推進しました。そのときに最も重要視したのは、一年を通していつでも誰でも複数のスポーツができる場所を、自主財源で運営できるクラブをつくることでした。教育委員会が支援してつくった9種目のスポーツ愛好組織が会員となって、共益活動をベースとする総合型クラブをめざしました。主要事業であるスクール事業(バレーボール、バスケットボール、卓球、ソフトテニス、サッカー、バドミントン、剣道、弓道、野球、グラウンド・ゴルフ)は、世代によっては提供していない種目もありますが、基本的に地域住民であれば誰でも参加可能です。また、会員になればすべて無料で自由に参加することができます。

設立当初は、会員対象事業(スクール、教室、イベント等)だけを行ってきましたが、次第にすべての地域住民を対象とする公益事業として、下呂市からの委託事業やクラブ主催事業、地域の団体との共催事業等を行うようになりました。平成21年度には、クラブ経営を継続するために指定管理者事業等の収益事業も行うようになりました。会員数は、設立年の平成15年度が640名、平成22年度に806名で最大となり、令和4年度は570名と減少傾向にあります。地域振興をめざした事業の多くがコロナ禍により中止(休止)となっており、現在再開をめざしています。クラブの詳細については、萩原スポーツクラブホームページをご覧ください。

萩原スポーツクラブ クラブ事業紹介:<http://hagiwarasc.com>

飛騨はぎわら
桜
ウィーク
in 飛騨川公園
4.1(土) ▶ 4.16(日)

公園には約200本のいろいろな桜が咲きます。この期間も「桜ウィーク」としてお楽しみください。臨時駐車場も用意しています。

2023 第6回
桜まつり
4.9(土) 10:00~15:00 飛騨川公園
4.9(土) 日本酒の配布(50本程) 10:00~
10:30(無料)

主催 NPO法人萩原スポーツクラブ
NPO法人サン・はぎわら
後援 萩原町観光協会、萩原町商工会、GoGo遊博

お問い合わせ
NPO法人萩原スポーツクラブ 0576-52-1514
所在地 飛騨川公園管理事務所 0576-52-4313
http://www.hagiwarasc.com 萩原スポーツクラブ

飛騨はぎわら桜ウィーク
指定管理している飛騨川公園にて開催期間中には、コンサートやウォーキングイベント等やフリーマーケット、バザー等を実施しています。

月例グラウンド・ゴルフ大会
会員向けのお楽しみ事業から発展して、現在は下呂市内外から参加者のある地域交流事業として、地元企業とも連携して実施しています。

2023 月例
グラウンド
ゴルフ
大会

どなたでも参加可能!
初心者の方も大歓迎です!
当日参加も大丈夫!

2023年	4/18	はぎわら桜めぐりカップ	協賛 萩原町観光協会
	5/16	飛騨の2大名物肉カップ	協賛 (株)天狗
	6/20	桂川電工カップ	協賛 桂川電工(株)
	7/18	JAひだ萩原カップ	協賛 飛騨農業協同組合
	8/22	JYU-STYLE建築設計カップ	協賛 (株)春昇建築
	9/19	タイム技研岐阜カップ	協賛 タイム技研岐阜(株)
	10/17	旨い酒・天領カップ	協賛 天領酒造(株)
	11/14	ギフトショップメモリアルカップ	協賛 (有)メモリアル
	12/5	萩屋ケイちゃんカップ	協賛 (有)萩原チキンセンター
2024年	3/19	弘栄工務店カップ	協賛 (株)弘栄工務店 ※あさざりグラウンドで開催します。

雨天の場合は本展日に順延いたします
最新情報は萩原スポーツクラブHPをご覧ください。
http://www.hagiwarasc.com 萩原スポーツクラブ

TEL:0576-52-4313
〒509-2518 岐阜県下呂市萩原町上呂3250番地1

感染対策(体調確認、マスク持参等)に気を付けてご参加ください。

主催 NPO法人 萩原スポーツクラブ 主幹 下呂市グラウンド・ゴルフ協会萩原支部

2 他クラブにとっても参考になる萩原 SC の取り組み

好影響をもたらした自主財源で運営可能な会費設定

「クラブの財源確保とは」と考えたとき、総合型クラブではいろいろな答えがあり、内容が一致しないように思います。多くの人が互いに違う理解でクラブの財源確保について検討しているなか、一つの事例として参考になればと思い、萩原SCの取り組みをご紹介します。

萩原SCは、行政(教育委員会)が主導して設立したため、設立に要する財源の確保は行政職員が行いましたが、設立後は、クラブにて運営費用の確保を行っています。

まず初めに、初年度から自主財源で運営ができるよう、年会費の価格設定をクラブスタッフ全員で考えました。各種目で1年間に必要な運営経費と、登録が見込まれる会員数を基に、年会費を試算しました。そこで決まったのが、子ども5,000円、大人10,000円、家族15,000円の年会費です。平成15年度に決めた年会費ですが、今も同一会費にて運営しています。クラブでは、新たな事業をやらなければ、必要な経費に大きな変化はありません。しかし、クラブとしてやりたい事業や活動があれば、それに必要な財源を確保する必要があります。

設立時に行った会費決定の議論をした経験が、その後の財源確保に対する会員の意識形成に大きな影響を与えていると思います。

初年度は200万円の剰余金となり、思わぬ繰越金ができただことで資金繰りの心配がなくなり、助成金の自己負担が素早く決断できるなど効果がありました。

財源の確保につながったクラブの取り組み

財源を確保するためにクラブでは、次に紹介する行政からの委託事業や指定管理事業、そしてクラブ独自の取り組み等を実施しました。

【自治会との連携】

- 萩原町見舞金制度の業務委託
- 地域スポーツ振興委員の配置 支援スタッフ確保(22名)
- 賛助会員登録 22自治区 28万円

【地域振興事業委託(市との連携)】

- 市主催の地域住民向け(主にスポーツ)の個別事業を徐々にクラブへの委託事業に移行し、一つの事業として予算化
- 地域のニーズに合致した事業改善・改廃を行ったクラブ独自事業も加え効率的な地域振興事業を実現

【指定管理事業(市営施設)】

- 指定管理を受託しているグラウンド・ゴルフ場の利用料金や規約変更を提案し、サービス向上や利用者増大を図った(利用料収入は、予算時より100万円増)
- 電気使用量の節約を提案し、節電活動の効果分をクラブの成果とすることを要望。新電力会社への契約更新を提案し、指定管理者にて決定可能とした。指定管理者契約時の管理料より大幅な経費削減となった。
- コロナ禍に対する補償や助成など個別案件に踏み込んで交渉

【地域団体・企業との連携】

- 月例グラウンド・ゴルフ大会への協賛(賞品または協賛金)
平成23年度は独自開催し、25万円の赤字を出したが、協賛事業化したことにより平成30年度は30万円の黒字となった。

【その他】

- 会員や参加者のできる準備・片付けなどは会員や参加者に任せる

上記で確保した財源にて乗用車、印刷機、体組成計測システムなどを購入しました。

また、スポーツ振興くじ助成(マイクロバス助成など)のクラブ負担分も即時準備することができました。

平成24年度以降からは、指定管理で得られる収益にて、会員サービス事業(スクール、教室等)や地域振興事業(地域住民を対象としたイベント等)にも支援をしています。

3

支出削減や組織改編が自主運営に効果あり

受託した事業の無駄をなくし財源確保

財源の確保には、大別すると「運営財源の確保」と「経営財源の確保」の2つがあると考えます。

- 運営財源 毎年のクラブ事業を実施するのに必要な財源
クラブ会員などに協力を求めて集める
- 経営財源 クラブの自主自立体制を築き、経営を継続するために必要な財源
クラブ役員など経営者層が検討し確保する

クラブが自主自立し、自主運営できる体制を築くためには、「経営財源の確保」が必要になります。経営財源を確保するための事業や、寄付・賛助・助成などの収入事例はいろいろあると思いますが、繰越金を基に分析すると「収入を上げる」施策を多数実行することよりも、ふだん実施している事業の「支出の削減」(無駄な経費を削減)することのほうが財源確保に寄与していることがわかりました。

非営利団体で共益および公益活動を事業目的としている総合型クラブにおいては、収入金額の大きさに関係なく、受託した事業の無駄をなくし、支出を削減するほうが、より多くの経営財源の確保につながると考えます。そのためには、クラブ側からも支出の削減や改善を提案する必要があります。また、クラブのインセンティブについても検討し、行政と交渉することで財源確保につながると考えます。

また、萩原SCでは令和2年度に組織改編を行い、クラブ事業を2つに分類しました。

①クラブ運営事業(運営委員会にて担当)

- 会員サービス事業: スクール、教室、サークル支援
- 地域振興事業: 地域づくり、地域交流

②クラブ経営事業(経営委員会にて担当 新設)

- 指定管理者事業: あさざりスポーツ公園、飛騨川公園
- 委託事業: 下呂市スポーツ協会事務局

自主運営できる体制を築くためには、「経営財源の確保」を担当する部署を設けたほうがよいと考え、組織改編を行いました。クラブの自主運営を継続するために必要な資源(職員、事務所、事務機材・機能等)の確保や年会費改正、寄付・賛助の獲得等は、経営委員会にて担当することにしました。行政との交渉が重要な役割の一つとなり、クラブの施設運営による経費削減やサービス向上策による成果がクラブの財源確保につながるようすることを経営委員会の役割としています。

人口減少が進む地域の「指導者確保のこれから」について

多くのクラブで財源確保に関する課題となっているのが、指導者謝金の確保です。萩原SCでは、設立時から指導者謝金は支払っていません。昨今の問題となっている部活動改革についても、指導者謝金の財源確保が大きな課題であり、現在萩原SCでも課題解決に向けて検討を進めています。

指導者謝金の財源確保はクラブ設立時からの課題であり、これまで何度も協議・検討を行ってきました。現在は、有償ボランティアの制度化などを検討しています。

ただ、指導者の確保を目的として指導者謝金の財源確保に取り組んでいるわけではありません。人口減少が進む地域では、指導者謝金を用意しても指導者確保への効果はわずかだと思います。萩原SCでは、クラブ会員の中から運営・指導にも携わってくれるボランティア指導者を育成してきました。今後もこの方法をベースに指導者を確保し、指導者謝金の財源確保にも対応していきたいと思っています。

4

今後は地域への帰属意識の高まりを期待

市や学校と連携・協力して地域の活性化をめざす

萩原SCは、主に萩原町地域の住民を対象に活動するコミュニティビジネス型のクラブです。地域住民がさまざまなスポーツやイベントに興じることができ、それらの活動により地域の活性化をめざします。事業実施には、地域住民のボランティアの活動が不可欠です。クラブは地域の仲間づくりや地域の活性化をめざしていますが、これを多くの人が自分事と捉え、みんなでクラブを育てることをめざしてほしいと思います。それが、クラブの理念でもあります。

最近では、スポーツ種目に帰属意識の高い人やグループが多くなっているように思います。会員登録時はそうであっても、徐々に種目やチームから地域への帰属意識も高まることを期待します。萩原SCは、競技団体の傘下でも学校支援のための組織でもありませんが、市や学校と連携・協力して地域の活性化をめざす活動を継続していきたいと思っています。

NPO法人萩原スポーツクラブ クラブマネージャー 細江隆司

クラブプロフィール

設立年月日 平成15年5月1日(平成19年5月1日 法人登記)

所在地 岐阜県下呂市萩原町羽根1696-1

運営 会員数:570名(令和5年3月現在)、予算規模4,241万5,000円

特徴 クラブ理念

- 一人ひとりの健康づくり、仲間づくり、そして地域コミュニティの活性化を図る
- みんなのクラブはみんなで育てる
- 100年続くクラブをめざす

連絡先 〒509-2506 住所:岐阜県下呂市萩原町羽根1696-1

TEL:0576-52-1514 FAX:0576-52-1030

HP:<http://hagiwarasc.com>

E-mail:hsc@hagiwarasc.com

